

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

+++++

++ CONTENTS ++

【1】理事エッセイ 理事 岩谷 邦夫

(クリングルファーマ株式会社 代表取締役社長)

【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ (各種団体の案内転載・再掲含む)

【3】編集後記

▼△▼△—————

【1】理事エッセイ

東日本大震災で被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

3・11以来テレビに映る被害の凄まじさに呆然とし、たいした事の出来ない自分の不甲斐なさに腹立たしい日々を送っていましたが、被災地の人たちの我慢強さや前向きな姿勢を見るに付け被災していない我々のほうが元気をもらっている様な気分になってきました。こんな時こそ関西が頑張らなくては。そしてこんな時こそ新しい事業を起こすことが大切な事ではないかと考えています。起業を目指す若い人たちにはこんな時にこそアイデアを出して起業に繋げてほしいものです。

ここ数年の調査では日本人の起業に対する意識の低さが対欧米のみならずアジアの中でも際立っていましたが、考えてみれば現在の大企業であるソニーもホンダもパナソニックもシャープも太平洋戦争後の焼け野原から立ち上がって来た会社ですね。政府がいらぬ規制さえしなければこれからの復興過程で東北地方から日本屈指の大企業が育ってくるかもしれません。いやきっと出てくるでしょう。あの東北の人たちの不屈の精神と笑顔を見ているとそう思うようになります。

地震と津波の被害だけでも大変なのに今回はその上に原発の事故が加わってしまいました。これは人災以外の何物でもありません。効率の裏に潜む魔の手、と行ったら言いすぎでしょうか。原発建設当初以来の関係者の大小様々な油断がもたらした事故のような気がしてなりません。そして事故が起こってからの政府を含めて関係者の対処の仕方のなんと拙い事、目を覆うばかりです。

日本には限りない自然の恵みがあります。太陽光、風力、地熱、波浪、等々。これらのエネルギーを電力に変える新しい優れた技術が日本には存在すると聞いています。コストが問題とはよく言われますがコストは見方によって、そして政策によって如何様にも変わるものです。原発被害を収束させるまでの直接間接コストを考えればクリーンな新技術を開発するコストなどしれているように思いますね。折角の技術を生かしきれない政治のあり方にこそ大きな問題点があるといっても良いのではないのでしょうか。

こんな時に日本の政治家は何をやっているのでしょうか。もっと大胆に政策提言をし
そして実行してほしい。日本の将来の為に、そしてそれが無私の行為であれば日本国民
は賛同し支援すると思います。そして我々のようにベンチャービジネスに携わる者
はとにかくあらゆる方法を考えてそれぞれのベンチャー企業を成功させる事が日本の
元気の源になるとの思いを新たにしています。

青い銀杏の会の皆さん、皆さんの力を結集して日本の元気の源になろうではありませんか。

岩谷邦夫
クリングルファーマ株式会社

【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ《再掲含む》

[バイオ関連イベントカレンダー] は↓

⇒⇒⇒ <http://www.kinkibio.com/cgi-bin/scheduler/sche6.cgi>

*** 助成金情報 ***

- ◆「イノベーション推進事業」のうち課題解決型実用化開発助成事業の
「課題〔3〕『がん領域を対象とするバイオ医薬品の革新的製造技術の開発
(231KD3)』」の公募について

http://www.nedo.go.jp/koubo/EK2_100002.html?from=nedomail

公募期間：2011年6月8日（水）～2011年7月5日（火）

お問合せ先：バイオテクノロジー・医療技術部 健康バイオグループ

担当者：澤田、古川、中村

TEL：044-520-5231

- ◆平成23年度「創造的産学連携事業（新規分）」に係る補助金交付先の公募について

公募期間：2011年5月30日（月）～2011年6月20日（月）

詳細：<http://www.meti.go.jp/information/data/c110530aj.html>

お問合せ先：近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課

大阪市中央区大手前 1-5-44 大阪合同庁舎 1号館

TEL：06-6966-6164

- ◆平成23年度「SBIR 技術革新事業」の公募について

公募期間：2011年5月31日（火）～2011年7月12日（火）

詳細：http://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100002.html

お問合せ先：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

技術開発推進部 技術革新・基盤技術グループ

TEL：044-520-5171 E-mail：sbir23@ml.nedo.go.jp

*** イベント情報 ***

●JBA 新資源生物変換研究会シンポジウム『バイオリファイナリーの今、そして 未来』【再掲】

日時：2011 年 6 月 17 日(金) 13:00～17:00

場所：神戸大学百年記念館（六甲ホール）

詳細：http://www.jba.or.jp/top/2011/0617_shin_shigensimpo.html

お問合せ先：一般財団法人バイオインダストリー協会

新資源生物変換研究会事務局 担当：穴澤・矢田

TEL：03-5541-2731 FAX：03-5541-2737

●新適塾「脳と社会」第2回会合（脳から見た人間社会の言語と社会）【再掲】

日時：2011 年 6 月 17 日(金) 17:30～20:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル（6 階）

詳細：<http://www.senri-life.or.jp/shinteki/shinteki-noutosyakai.html>

お問合せ先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「脳と社会」係

TEL：06-6873-2001 E-mail：tkd@senri-life.or.jp

●第7回「大阪大学医工情報連携シンポジウム」第2回「MEI 産学官連携部門勉強会講演会」
第13回「未来医療交流会」【新規】

日時：2011 年 6 月 21 日(火) 13:10～17:30

場所：大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館3階 阪急電鉄・三和銀行ホール

詳細：<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/backnumbers/koryu13.pdf>

お問合せ先：大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

TEL：06-6879-6577 FAX：06-6879-6567

E-mail：mei-sec@mei.osaka-u.ac.jp

●第5回三重大大学先端研究シンポジウム【新規】

日時：2011 年 6 月 24 日(金) 13:00～17:20（シンポジウム）

17:30～19:00（交流会）

場所：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール

詳細：<http://www.mie-u.ac.jp/topics/university/2011/04/5.html>

お問合せ先：三重大大学学術情報部社会連携チーム

TEL：059-231-9011 FAX：059-231-9047

E-mail：syakai-s@ab.mie-u.ac.jp

●第95回 彩都バイオサイエンスセミナー【新規】

日時：2011 年 6 月 28 日(火) 11:00～12:00（セミナー）12:00～13:00（交流会）

場所：彩都バイオヒルズセンター 2階会議室A

詳細：「医薬品・食品効能評価センターの取組み」

【講演者】大阪市立大学 大学院 医学研究科 教授

大阪市立大学 医学部附属病院 医薬品・食品効能評価センター長

北條 泰輔 氏

【講演内容】国は「治験活性化5カ年計画」として、治験や臨床試験の中核的役割を担う医療機関の整備を進めている。
大阪市立大学医学部附属病院も、拠点医療機関の指定を受けており、現在、中核施設となるべくさらなる体制整備に努めているところである。
本講演では、治験・臨床試験の取組みの現状と課題について紹介する。

お問合せ先：バイオ・サイト・キャピタル(株) 上野 (fueno@bs-capital.co.jp) まで
TEL：072-640-1060 FAX：072-640-1080

●科学技術シンポジウム「これからの科学技術イノベーション政策【新規】

～日本の復興及び更なる発展に向けて～

日時：2011年6月28日(火) 13:00～17:30

場所：ウ・タント国際会議場（国際連合大学）

詳細：<http://crds.jst.go.jp/sympo/20110628/>

お問合せ先：JST/CRDS 科学技術シンポジウム事務局
TEL：03-5362-0128 FAX：03-5362-0125
E-mail：crds@omc.co.jp

●「新しい先端医薬品としての核酸医薬品の戦略」セミナー【新規】

日時：2011年7月8日(金) 10:00～17:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル5階 ライフホール

詳細：<http://www.senri-life.or.jp/seminar-1.html#seminar-2011-07>

お問合せ先：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団 セミナーC1 係
TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002
E-mail：sng@senri-life.or.jp

【3】東日本大震災関連支援策のご紹介【再掲】

～東日本大震災により影響を受けられた研究機関・研究者の方を対象とした支援策のご紹介～
このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。
タンパク質関連プロジェクトを進める「プロテイン・モール関西」（会長：勝部幸輝
大阪大学名誉教授、事務局：大阪バイオ・ヘッドクォーター）では、会員の皆様が提供されている、東日本大震災によって直接影響を受けられた研究機関や研究者の方などを対象とした支援策を、下記のとおりご紹介しています。
詳細につきましては、各機関にお問い合わせください。

■独立行政法人医薬基盤研究所

震災でお困りの研究者を対象に、細胞、ヒト由来 DNA・血清等、及びマウス凍結胚・精子の「保護預かり」を平成24年3月末まで「無料」にさせていただきます。

<http://www.nibio.go.jp/news/2011/03/000137.html>

大阪大学蛋白質研究所

被災された研究者支援のため、共同研究員の追加募集をします。

<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/jpn/topics/shinsai110407.php>

■独立行政法人産業技術総合研究所関西センター

実験場所の提供、実験装置の利用、受託研究などのご相談に応じています。

下記の HP「お問い合わせ」からご連絡ください。

http://unit.aist.go.jp/kansai/inquiry_web.html

■大阪府

震災の影響等を受けた企業等へ一時避難のための事務所などをご案内しています。

<http://www.pref.osaka.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=6640>

【4】編集後記

先日、仙台、石巻、東松島に行ってきました。

震災から３カ月以上を経過し、仙台市内は日常をほぼ取り戻している

ように感じました。しかし、郊外や海岸部では瓦礫の撤去も進まず、

避難所の現場は行政の手は殆ど行き届かず、ボランティアの好意や熱

意に依存している状況でした。

そんな中で、子供たちの明るい声や希望を失っていない被災者の方々の

礼節あるご対応が救いとして残りました。

甦れ、東北！ 頑張れ、日本！！

さて、6月13日に大会・総会・懇親会が開催されました。ご多忙の中、

70 名ほどの方々にご参加頂き、成功裡に終了することができましたので、

この場を借りて御礼申し上げます。

秋には恒例の交流会を予定していますので、ご参加頂けますようお願い

申し上げます。

(事務局長 谷)

※皆様からのメルマガ掲載記事の投稿・応募、ご意見ご要望なども

お待ち申し上げます。

.....

□ 発行責任者：青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>

■ 編集：青い銀杏の会 事務局

☐ メールマガジン連絡先 : info@osaka-u.com

■ このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。

□ Copyright (c) 2011 青い銀杏の会. All rights reserved.

.....